

# 彦春町茜

文想感書誌言  
論本體圖

第10回  
第11回  
合併号

読書感想文

『国体論』

第10、第11回合併号

著者：茜町春彦

概要：白井聡著『国体論（集英社新書）』を少しずつ読み進めながら、感想文を投稿しています。  
この記事は第10、第11回合併号となります。

読者対象：戦前戦後の国家体制に関心のある人

ちょっと引用します。

(P105)・・・昭和ファシズム期においては、明治憲法の立憲主義的解釈は主流の地位を失ったところか、禁止されるにいたった・・・憲法が欽定であったこと、つまり制憲権力を天皇が独占しているという建前で憲法が発布されたこと、そしてそれと軌を一にするかたちで、憲法は天皇の国民に対する約束や誓いというかたちではなく、「天皇が『皇祖皇宗ノ神霊』に許可を求め、続いて国民のほうに向き直って憲法を賦与する形式をとった」こと―――これらはすべて、権力の正統性の源泉は、天皇にのみあって、国民には存在しないことを物語っていた・・・

引用を終わります。

戦前において主権は天皇にありました。そして戦後は国民主権に変わりました。そのはずですけどねえ・・・未だに占領下ですかねえ。

まあそれはそれとして、仮に日本が「戦後レジームからの脱却」をしたら、戦前の体制に戻るといいと思いますか、それとも共和制に移行するといいと思いますか・・・どうなるといいと思いますか？

(次回へ続く)

## 後書き

---

参考文献：

次の文献を参考にしました。

- 国体論：2018年4月22日第1刷発行 白井聡著 集英社新書

C G画像：

次の画像処理ソフトウェアを使用しました。

- ArtRage 3 Studio Pro アンビエント社
- Photoshop Elements 10 アドビシステムズ株式会社

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。独自のアイデア・考察を社会に提示することをミッションとし、平等で自由な世界の構築を目指して創作活動を行なっております。また、下記WEBサイトに於いても、デジタル作品を公開しております。

- YouTube （動画共有サイト）
- Google+ （ソーシャルネットワークサービス）
- 楽天Kobo電子書籍ストア （ネットショッピングサイト）
- はてなブログ （WEBLOGサービス）
- Facebook ページ （ソーシャルネットワークサービス）
- Pixiv （イラスト投稿サイト）
- カクヨム （小説投稿サイト）
- BOOTH （物販サイト）

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

2018年5月29日発行

読書感想文『国体論』第10、第11回合併号

<http://p.booklog.jp/book/122312>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/122312>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト